

ふくしま草の会だより



京

福寿草の会
愛川町介護者の会
第144号
平成30年3月5日
連絡先 愛川町社会福祉協議会
Tel 046 (285) 2111

去る2月10日、町社協主催の福祉講演会で書家金澤泰子さんの講演「ダウン症の娘と共に生きて」と翔子さんの席上揮毫(きごう・書画をかくこと)がありました。

1000人に1人のダウン症という障がいを持った翔子さんを絶望と闇の中で泣きながらの子育てをした母泰子さん。しかし、翔子さんの、比類ないやさしさ、純度の高い魂、競争心がない穏やかさは、回りの人々をも幸せにしてくれたよう

です。32歳となり、一人暮らしを始めた翔子さんは、近所の方、町内の方たちからも、大変愛されているとのこと。「慈悲にあふれた世界」「悟りの境地」「無欲の大欲」日常生活で忘れていたそんな言葉を体現しているお二人に魅了された一時でした。

3月のつどいは

27日(火) 12時半～15時

親睦会です

場所 春日台タウンカフェ あい

(春日台児童館 隣り)

▷会費 500円(当日集めます)

昼食をとりながら歓談したり、ビンゴゲーム(お楽しみ景品あり!)などで、日ごろの介護の苦勞を癒しましょう。

▷参加される方は20日(火)までに、役員または小沼(285-4166)まで。

皆様の参加をお待ちしています

1月のつどいは

30日に、12名の会員と包括支援センターの村上保健師の参加で話し合いを行いました。

会員自身のインフルエンザ、ぜんそく、雪かきによる腰痛、骨折等、故障の方が多く、心配です。

また、認知症予防の話で、①早期発見・治療が大事ですが、病院受診には、内科ではなく、精神科を受診することが大事とのこと。

近隣では

- ・あいかわ心療クリニック(春日台)
- ・相州病院(厚木市上荻野)が、あり
- その他、②健康的な生活習慣を心がけること
- ③悪化防止のためのリハビリ、運動の習慣をもつこと、とのこと。

認知症講演会

2月3日 愛川町保健センターにて

～認知症の人の世界を知ろう～

<講師>杉山孝博先生

川崎幸クリニック 院長
公益社団法人認知症の人と家族の会
副代表理事・神奈川県支部代表

認知症をよく理解することで、家族の混乱を、少しでも軽く、短くすることができる。

「認知症をよく理解するための法則(9大法則・1原則)」

①記憶障害に関する法則

ひどい物忘れ、近いことほど忘れる

②症状の出現強度に関する法則

身近な人ほど強く症状が出る

③自己優位の法則

自分にとって不利なことは認めない

④まだら症状の法則

正常な部分とそうでない部分が混在する

⑤感情残像の法則

感情は残る、理性から感情の世界へ

・ほめる、感謝する・共感(あいつち、良かったね)・謝る、上手に演技する

⑥こだわりの法則

一つのことについていつまでもこだわり続ける

・関心を別に向け、こだわりの原因をみつけて対応する・第三者の協力を得る

⑦作用・反作用の法則

強く対応すると、強い反応が返ってくる

⑧認知症症状の了解可能性に関する法則

⑨衰弱の進行に関する法則

老化の進行が速い

介護に関する原則

認知症の人の形成している世界を理解し、大切にすること。その世界と現実とのギャップを感じさせないようにする

※永年、多くの認知症の人とその家族の方たちに接して来られた先生のお話は、具体的な事例も豊富でわかりやすかった。今、直接かかわりのない方にも、ぜひ知ってほしいと思います。



福寿草のたより 特別号 3月1日発行

<介護体験記>

彼のスイッチ

館野雅子 著

いつ、どうして、スイッチオンになってしまうの? 「オン」になると、別人の「彼」がいる。介護苦のただ中なのに、クスリと笑ってしまう…。認知症の方を介護している方にぜひ読んでいただきたい体験記です。無料です。社会福祉協議会・高齢介護課にあります。

悲しいお知らせ

馬場保政さんが介護されていたお父様安様が1月15日慢性心不全でお世くなりになりました。

94歳でした。心よりご冥福をお祈りいたします。